

新型コロナ

県、30日から注意報に

会話時のマスクは徹底

県は二十七日、新型コロ

ナウイルス感染拡大防止の

ために発令している警報を

三十日から一段階下の注意

報に切り替えると発表し

た。六月十二日まで、新規

感染者数が減少しているこ

とに加え、人の移動が活発

になる時期が間近に控えて

いないことを踏まえた。注

意報の発令は、警報に引き

上げられる前の二月十二日

以来。『新型コロナ関連』

①面

「年度替わりや大型連休などで感染者の増加が見込まれた時期と違い六月は人が大きく動く予定がない」と切り替える理由を話した。

感染対策では引き続き、屋内、屋外の違いや相手との距離を問わず、会話時の「おはなしはマスク」を徹底するよう求めた。国がマスクが不要なケースを新たに示し、二メートル以上の距離をとれる屋内などで「会話をほとんど行わない場合」を挙げたことにも言及。「会話の場面は急に出てくる。『ほとんど』は曖昧で指針になり得ない」として、県の方針の緩和は見送った。

県は未就学児や、熱中症の危険性がある時の学校を対象にマスクの着用を求めおり、この対応は国の

新たな方針にも沿っている。を対象とした無料検査は、月十一日まで延長する。
として継続する。無症状者 注意報の期間に合わせ、六月十一日まで延長する。
(浅井貴司)

福井県独自の 感染評価指標	現状 (5月27日)	レベル1	レベル2	レベル3	
		注意報	警報	特別警報	緊急事態
医療体制	確保病床数(441床) の占有率	12.5% (55床)	20%程度 (85~95床)	30%程度 (130~140床)	40%程度 (170~180床)
	うちICU確保病床数(24床) の占有率	0.0% (0床)	20%程度 (5床)	30%程度 (7床)	40%程度 (10床)
感染状況	直近1週間の 新規感染者数 (人口10万人当たり)	1690人 (220.0人)	おおむね 70~80人 (10人)	おおむね 110~120人 (15人)	おおむね 150~160人 (20人)
					192人以上 (25人)

直近一週間の新規感染者数は、五月十九日に四月以降最多の二千四百六十二人を記録。以降は八日連続で減少し、二十七日は十八日ぶりに千七百人を下回った。依然として三月末~四月下旬より多いが、県健康福祉部の宮下裕文副部長は